

事業報告書

いざ出陣!

戦国岐阜合戦

～仲間と共に数々の試練を乗り越えよう!～



はじめに

本来子供たちは、壁にぶつかって悩んだときに自らで考え、仲間と共に行動することで成長することができます。しかし、今の子供たちは、大人たちの過度な干渉という環境や、一人で悩みを抱えがちな傾向によって、壁に直面し仲間と共に行動する機会が少なくなっています。そこで、私たちは「いざ出陣！戦国岐阜合戦」を実施することで、一人の力だけでは乗り越えることができない試練を創り出し、試練に対して子供たちにはチームで立ち向かい仲間と共に乗り越える経験をして頂くことで、仲間を信頼する心をもって行動する人になって頂こうと考えました。



実施日

2017年6月25日（日）

※事前説明会6月4日（日）岐阜市立岐阜中央中学校 第2体育館

実施場所

岐阜公園、金華山、岐阜城、川原町広場

参加対象

岐阜市及び岐阜市近郊の小学4年生～6年生 300名



仲間を信頼する心をもって行動する人になって頂く！



壁に直面し仲間と共に行動する機会が少なくなっている子供たちに対して、一人の力だけでは乗り越えることができない試練を与え、一人ひとりが力を発揮し仲間と共に乗り越える経験をして頂くことで、仲間を信頼する心をもって行動する人になって頂く。



事前説明会

「いざ出陣！戦国岐阜合戦」事前説明会

2017年6月4日(日)岐阜市立岐阜中央中学校 第2体育館

～ストーリー～ 「邪心斎（ジャーシンサイ）を倒し、ぎふの平和を取り戻すのだ！」

ぎふのまちに突如現れた敵「邪心斎（ジャーシンサイ）」。邪心斎を倒すためには、刀と勇気玉を手に入れなければならない。刀と勇気玉を手に入れるためには、試練をクリアすることで得られる鍵カードを集めなければならない。集めた鍵カードを合戦の門で揃え漢字1文字を見事に導き出せれば、刀と勇気玉が手に入るのだ。邪心斎を倒すため、いざ出陣！仲間と共に試練に立ち向かうのだ！！



事業当日

「いざ出陣! 戦国岐阜合戦」事業当日

2017年6月25日(日) 岐阜公園・金華山・岐阜城・川原町広場

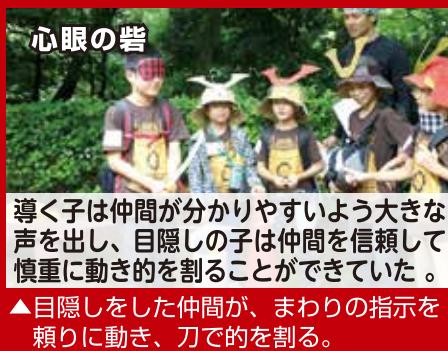


事業当日は、1チーム12名が2つの小隊に分かれて行動し、それぞれの小隊が6つの砦にある試練クリアを目指して出発した。岐阜公園には「集中力の砦」「心眼の砦」、歴史博物館には「判別力の砦」、金華山登山道には「記憶力の砦」「計算力の砦」、山頂には「表現力の砦」がある。すべての砦には、一人の力だけでは乗り越えることができない試練が待っていた。



集中力の砦
苦手な子は近い距離から、得意な子は遠くからの的を狙い、仲間を信頼しそれぞれが頑張っていた。

▲小さな的穴を狙いすまして、集中してボールを投げ入れる。



心眼の砦
導く子は仲間が分かりやすいよう大きな声を出し、目隠しの子は仲間を信頼して慎重に動き的を割ることができていた。

▲目隠しをした仲間が、まわりの指示を頼りに動き、刀で的を割る。



判別力の砦
制限時間以内にクリアするため、仲間を信頼し別行動しながら挑戦していた。

▲歴史博物館内の展示物を手掛かりに、正しい答えを見つけ出す。



記憶力の砦
答える順番を工夫し全員でクリアできるよう一人ひとりが真剣な眼差しで一生懸命覚えていた。

▲文字の大きさ、色、形の異なる12個の単語を記憶して順番に答える。



計算力の砦
得意な子が苦手な子に教えたりしながら、仲間を信頼し助け合って解いた。

▲両、匁の単位を使って、武器や防具の合計金額を算出する。



表現力の砦
自分の役割を果たすと、出題者は全力で表現し、回答者は答えを一生懸命考えて答えていた。

▲お題をジェスチャー・絵・粘土で表現し、何かを答えて正解を当てる。

力を合わせて乗り越えていく中で
仲間を信頼していった子供たち

◆2つの小隊が合流し、鍵カードを揃えることで漢字1文字を導き出した。
合戦の門で刀と勇気玉を手に入れ、仲間と共にいざ出陣!!



刀と勇気玉を手に入れた子供たちは、邪心斎の待つ川原町広場へと向かった。そして邪心軍(JCメンバー)とのチャンバラ大合戦に見事勝利!! 仲間を信頼して行動することで、最後の試練も乗り越えることができた!



仲間を信頼して行動することで最後の試練を乗り越えられた!

子供たちの声・アンケート結果・分析

1.仲間を信頼してみんなでがんばることが大切と感じましたか？

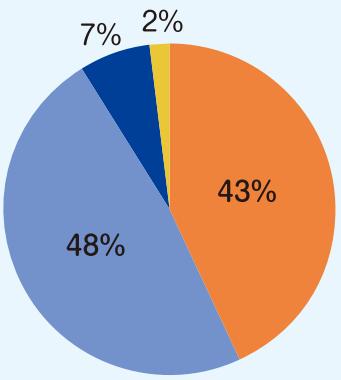
■ とても感じた ■ 感じた ■ 感じなかつた ■ まったく感じなかつた

2.なぜそのように思いましたか？

- ・仲間と協力するためには信頼することが大切だと思ったから。(小4男子)
- ・仲間を信頼すると一人ではできないことができるようになるから。(小4男子)
- ・いろいろな時に仲間を信頼して頼み事ができたから。(小4女子)
- ・信頼していなかつたらみんなが楽しくできていないと思ったから。(小4女子)
- ・一人では問題が解けなかつたけど、仲間とならしっかり解けたから。(小5男子)
- ・仲間を信頼しないとチームがバラバラになてしまうから。(小5男子)
- ・初めて知り合った子を信頼して、仲間と協力することができた。(小5女子)
- ・仲間が失敗した時でも励まし合えたから最後まで頑張れて達成感があった。(小6男子)

保護者の感想

- ・事前説明会で試練担当を決めたことで、当日をより一層楽しみにできた。
- ・体力に自信がある子ではなかつたが、最後まで頑張ることができたことに感動した。
- ・子供たちが楽しそうに取り組む姿が見られたので参加させて良かった。記憶に残る体験になった。



参加した子供たちのうち
91%が信頼の大切さを感じることができた！

まとめ

本事業で子供たちは、一人の力だけでは乗り越えられない試練に直面し、仲間と共に立ち向かう体験をしました。試練を乗り越えるためにはどうすれば良いのかを考え、自分の役割を果たすと共に、仲間と助け合っていました。子供たちは本事業を通じて、様々な試練を仲間と助け合い乗り越える中で、仲間を信頼することの大切さを感じることができました。これからも子供たちには、どんな試練にぶつかろうとも、一人で悩み立ち止まるのではなく仲間を信頼し、仲間と共に立ち向かって頂きたいです。

最後に、行政・企業・団体・学生ボランティアの皆様のご協力があってこそ事業を成功裏に終えることができましたことに感謝を申し上げます。

公益社団法人 岐阜青年会議所 青少年心身育成委員会 委員長 池田容一郎



発 行 公益社団法人 岐阜青年会議所 2017年度青少年心身育成委員会

副理事長 野々村彰文

室 長 伊藤 章

編集責任者 委員長 池田容一郎

副委員長 竹中 雅史 則竹 大介 虫賀 元哉

山内 寛明

委 員 井上 一樹 大西 純司 恩田 佳幸

河村 弦哉

棚橋 栄太 富樫 悠 原尾 彰

村瀬 功

渡邊 洋平 石徹白 稔 所 宏和

山口 洋介

協 力 団 体 学生ボランティア団体（岐阜聖徳学園大学、岐阜聖徳学園短期大学）



Junior Chamber International Gifu

公益社団法人 岐阜青年会議所